

共幸講座(ともさちこうざ)

寿地区の皆さまとの交流の場である“共幸講座”。昨年度はコロナウイルスの影響もあり開催できませんでした。今も直接会うことは難しく、なかなか直接のやり取りができません。それでも皆さまとの交流をもちたい気持ちが強くあり、本年度第1回はオンラインでの交流会をおこないました。この1年、コロナの影響で変わった私たちの生活や、その中でも今できること、日々の様子を中継で報告しあいました。元気に作業をしている様子を見ていただいたり、お互いに気になることを質問しあったりと、話に花が咲きました。

第2回は、コロナウイルス流行が落ち着いていたこともあり、コムハウスを実際に見学して頂きました。一緒に作業をする時間も設け、地域の方と久しぶりに交流する機会がもてました。コムハウスのなかまが、どんな様子で過ごしているのか、その姿を見、たくさん想いをよせていただき、「近くであっても知らないことがたくさんあり、やれることって何だろう、できることから協力したい」とお話ししてくださいました。

共幸講座をきっかけに、私たちのことを知っていただけるのは何よりうれしいことです。



初めてのリモート交流。ドキドキで参加しました☆



見学の方と麦ストロー作業を一緒におこないました！



物資販売大好評！クッキー販売先ひろがっています！

今年も夏の物資にご協力いただきありがとうございました。クッキーの注文は、おかげさまで多くの皆さまにご注文いただき、全部で 1,769 袋の納品を無事に終了することができました。なかまも職員も一丸となって皆さまに美味しいクッキーをお届けできるように毎日頑張って作業しました。途中疲れが出てしまうこともありましたが、みんなで協力しながら最後までやりきることができました。年に 2 回の物資で地域の皆さまにお届けすることが大きな励みになっています。ご注文本当にありがとうございました。

また、新規で「ヘアサロンたんぽぽ」さんにクッキーを置かせていただくことになりました。オーナーの遠山さんは、障がい者支援にとっても積極的で、障がいのある方でも、気軽に美容室に行けるようにと、お店をオープンされました。落ち着いた雰囲気のおしゃれなお店です。ぜひ、お訪ねください。その際には、コムハウスのクッキーもぜひどうぞ！！



★作品制作～福祉の文化祭に向けて～★

毎年寿地区の皆さまと力を合わせて開催してきた福祉の文化祭。共幸講座と同様に新しい形での開催・交流をということで、それぞれの作品を作って鑑賞しあうことになりました。コムハウスやねくすとらしい作品をということで、なかま・職員一丸となって作成中です。10月中旬に寿公民館に展示される予定とのことです。寿小学校や他施設の参加される皆さまの作品も楽しみにしています♪



ねくすとでは「あまびえとねくすとが守っていくもの」をテーマに作品を制作中です。どんな作品が出来上がるか、乞うご期待！



コムハウスでは、「なかまみんなが作品に参加できるものを」と、作品作りをおこないました。カラフルでそれぞれの個性あふれる手形が紙の上に咲きました。

ここからどんな作品ができあがりますか、どうぞお楽しみに♪



～知的障がいのある人の暮らし～

コムハウスやねくすとに通う知的障がいのある人は、日々の暮らしの中で、どんなことに困りどんな工夫をして生活をしているのか、今回はそんな一つを例え話を使ってご紹介したいと思います。

皆さん、海外旅行に行かれたことがあるでしょうか。あるいは行ったことを想像してみたいと思います。私は韓国に旅行した際、韓国語の言葉が全く分からず、街の中の看板に書いてあるハングル語標記も理解できないので、周囲をキョロキョロしながら自分が分かる文字やマークを頼りに過ごしました。トイレにある青い男性を模した標識、食事は看板に書かれた日本人向けに書かれた漢字で何が食べられるのか判断、地下鉄はローマ字表記を頼りに電車に乗り、車内では何番目の駅で降りるか数えながらでした。そんな中、日本と同じ看板に店構えのマクドナルドを見つけたときは、ホッとしたことを思い出します。

知的障害のある人は、日々こんな状態の中で自分に分かる僅かな情報量と安心できる人や場所を頼りに生活しています。人それぞれ、「漢字」も分かる、「ひらがな」は単語ならわかる、絵で表さないと分からない等、認識できる情報は様々です。だから日々障がいの無い人以上に沢山の「？」を積み上げながら、生きているのです。

地域で障がいのある人が暮らすには、絵などの視覚的標記や多くの人との出会いが安心につながり、暮らしやすさにつながります。資源物回収等でお出かけの際には、どうぞコムハウス・ねくすとも気軽に声がけください。

(片桐)